

こんな火災をなくそう！（電気火災編）

電気は、私たちが生活するうえで欠かせないエネルギーであり、快適な暮らしをもたらしてくれる反面、使用方法を間違えたり、使用環境が悪いと火災を発生させる原因になってしまいます。

令和6年に仙台市内で発生した247件の火災のうち、「電気関係」による火災は66件発生しており、全火災の26.7%を占めています。

電気関係の火災の多くは、使用方法の不良や経年使用によるものです。独立行政法人製品評価基盤機構(NITE)のホームページにおいて、各種電化製品に関する事故(火災)をわかりやすく再現した動画やリコール情報などが確認できます。

電化製品を安全に使用し、電気火災を防ぎましょう！

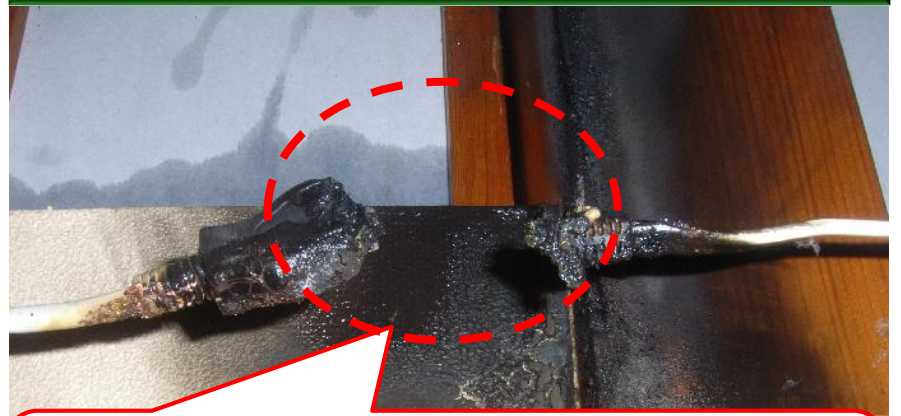
※ 電気関係とは、「電灯・電話等の配線」、「電気機器」、「配線器具」、「電気装置」の合計

部品の経年劣化により
出火した扇風機



長年の使用によって製品内部の部品が劣化して、火災につながるおそれがあります。

トラッキング現象により焼損したコンセント



コンセントと電源プラグの間に溜まったほこりに、湿気が加わり「トラッキング現象」が発生し、火災になってしまいました。

防火のポイント！

- ・電化製品は、取扱説明書をよく読み、適切な場所に設置し、正しく使用しましょう。
- ・洗面所、トイレといった水回りや、冷蔵庫の裏など、湿気やほこりの溜まりやすい場所は、こまめに清掃しましょう。
- ・製造から長期間経過した電化製品は、部品の劣化によって火災につながるおそれがあるので、異常を感じたら、すぐに使用をやめて、電気工事業者や販売店などに相談しましょう。

NITEホームページ2次元バーコード

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



X
公式アカウント



NITEホームページURL：https://www.nite.go.jp/

・独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)は、製品事故に関する情報を調査、分析し、再発防止やリスクの低い製品開発に向けて必要な情報を発信しています。